

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和7年度 技術情報第14号（サトイモ疫病）について（送付）

サトイモ疫病について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導を
よろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



令和7年度 技術情報第14号

8月上旬の降雨や台風12号の影響により、サトイモ疫病の発生が急激に拡大しており、一部のほ場では、発生程度の高いほ場が認められます。今後とも、台風等の強い風雨により、発生が拡大が懸念されるため、下記の項目5を参考に、生育後半の適切な防除に努めてください。

- | | |
|--------------|-------|
| 1 対象病害虫 | 疫病 |
| 2 対象作物 | サトイモ |
| 3 発生地域および発生量 | |
| （1）発生地域 | 県本土 |
| （2）発生時期 | 塊茎肥大期 |
| （3）発生量 | やや多 |

4 発生状況及び情報の根拠

- （1）8月下旬の巡回調査において、サトイモ疫病の発生ほ場率は60%（平成61%）と平成並みだが、一部のほ場で発生程度が「甚」および「多」ほ場が認められている（表1、図1）。
- （2）サトイモ疫病菌は雨と傷で感染が助長されるため、今後とも台風等の強い風雨により、発生が拡大が懸念される。

5 防除対策及び防除上注意すべき事項

- （1）サトイモ生育後半の疫病の発生は、収量に大きく影響しないものの、塊茎の腐敗を助長するため、安全使用基準を遵守し、適正な防除に努める。
- （2）発生ほ場では、直ちに治療効果のある農薬を複数回散布する。また、未発生ほ場でも予防散布に努める（表2）。なお、防除体系の詳細（図2）については普及情報（令和3年度）を参照する。
- （3）農薬散布後に葉が長時間濡れていると、薬害がでる恐れがあるので、農薬は速やかに乾く時間帯を選んで散布する。
- （4）収穫後のくずいも・親いも等の残さは、ほ場や周囲に残ると発芽して翌年の発生源となるので、ほ場外へ持ち出し適正に処分する。また、茎葉等の残さは早めにすき込み分解させる。



6 参考データ

表1 サトイモ疫病の発生状況（調査日：令和7年8月12～20日）（塊茎肥大期）

調査地	調査 ほ場数 (筆)	発生 ほ場率 (%)	本年発病度 ¹⁾ 別ほ場数 (筆)					平均発病株率 (%)	平均 発病度
			甚	多	中	少 ²⁾	無		
南九州市知覧町	2	100	1	1	0	0	0	99.0	73.8
さつま町宮之城	4	0	0	0	0	0	4	0.0	0.0
鹿屋市串良町	4	100	1	2	1	0	0	76.0	28.4
県本土全体	10	60	2	3	1	0	4	50.2	26.1

注1) ほ場で発病程度別に株数を数え、発病度を次の式で計算した。

発病度： $\{(4 \times \text{甚株数}) + (3 \times \text{多株数}) + (2 \times \text{中株数}) + (\text{少株数})\} / (4 \times \text{調査株数})$

注2) 発病程度；甚：発病度50%以上，多：同21-50%，中：同6-20%，少：同1-5%

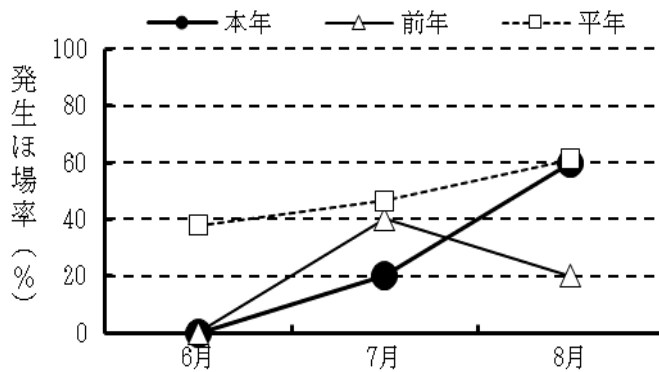


図1 サトイモ疫病の発生ほ場率の推移
※平年値は過去7年間の平均

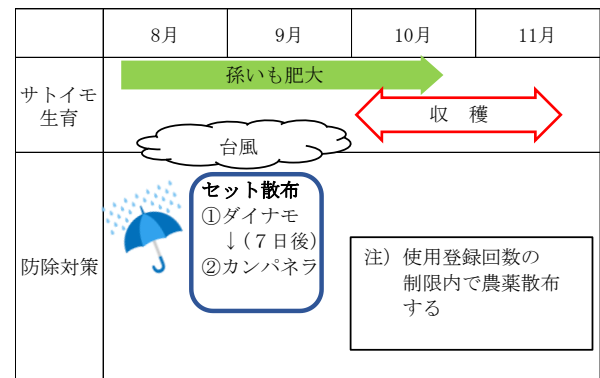


図2 サトイモ疫病の防除体系例

表2 サトイモ疫病に対する登録農薬（令和7年8月29日現在）

農薬名	RAC コード	使用方法	希釈倍数	散布液量	使用回数	使用時期	効果
ICボルドー66D	M01	散布	100倍	100-300L/10a	-	発病前～ 発病初期	予防
			2倍	6L/10a			
		無人航空機による散布	4倍	12L/10a			
			6倍	18L/10a			
アミスター20フロアブル	11	散布	2000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫14日 前まで	予防・治療
		無人航空機による散布	18倍	1.6L/10a			
オロンディスウルトラSC	49, 40	散布	2,000倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防・治療
カンパネラ水和剤/ベネセツト水和剤	40, M03	散布	1,000倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防・治療
		無人航空機による散布	16倍	1.6～3.2L/10a			
ジーファイン水和剤	NC, M01	散布	1,000倍	150～500L/10a	-	収穫前日 まで	予防
		無人航空機による散布	15倍	3.2L/10a			
ダイナモ顆粒水和剤	21, 27	散布	2,000倍	100-300L/10a	3回以内	収穫21日 前まで	予防・治療
			20倍	1.6L/10a			
		無人航空機による散布	40倍	3.2L/10a			
ペンコゼブ水和剤	M03	散布	500倍	100-300L/10a	2回以内	収穫7日 前まで	予防
ランマンフロアブル	21	散布	2,000倍	100-300L/10a	2回以内	収穫前日 まで	予防
			16倍	1.6L/10a			
		無人航空機による散布	32倍	3.2L/10a			